

(別紙様式2)

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容科) 令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	国家試験の出題ポイントである法規制度、美容師資格、美容師の行政処分、開設者に対する行政処分、罰則について完全理解をさせる	2	33		○			○			○	
○			衛生管理	衛生管理を通して美容師として広い見識を身につけさせ、且つ全員が国家試験に合格する等に推進する	1・2	99		○			○			○	
○			保健	人体の構造及び機能について学習する。皮膚と皮膚付属器官の構造及び生理機能について学習する	1・2	99		○			○			○	
○			香粧品化学	香粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的の他、どのような薬品が香粧品に属するのか、その定義、社会的意義や特性、法的な根拠、製品の安定性も含めた安全性などを理解し学ぶ。	1・2	66		○			○			○	
○			文化論	日本、世界の歴史におけるファッションと、理美容の関係を理解し、それぞれの時代で特徴的とされる髪型、服装、装飾、化粧について学ぶ。	1	66		○			○			○	
○			運営管理	美容室経営に必要な経営戦略・マーケティング・労務管理等を修得する	1	33		○			○			○	
○			美容技術理論	美容師として必要な知識の修得、美容師国家試験（筆記試験）合格を目指す	1・2	165		○			○			○	
○			美容実習	美容師として必要な技術（カット、ワインディング、オリジナル・オールウェーブ）について実習で学び、美容師国家試験（実技試験）合格を目指す	1・2	990				○	○		○		
合計				9 科目		1, 5 5 1 単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	4 0 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

(別紙様式2)

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容科) 令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ヘアスタイリング (ヘアケア)	トリートメント剤等の知識と使用方法の修得	1・2	27				○	○		○		
	○		ヘアスタイリング (パーマ)	パーマネント技術の修得	1・2	21				○	○		○		
	○		ヘアスタイリング (カラーリング)	カラーリング技術の修得	1・2	33				○	○		○		
	○		ヘアスタイリング (まとめ髪)	ヘアセットの基本テクニックを修得する	1	15				○	○		○		
	○		トータルビューティー (ネイル)	ネイルの知識と基礎的技術を修得する	1	24				○	○		○		
	○		トータルビューティー (着付)	着物の歴史と一般常識、着物に関する知識と着付技術を修得する	1	18				○	○		○		
	○		トータルビューティー (エステティック)	マッサージ・フェイシャルの基礎技術を修得する	1	18				○	○		○		
	○		トータルビューティー (アップスタイル&メイク)	メイクとセットアップ技術を修得する	2	30				e4 4	○		○		
合計			8 科目			186 単位時間			(単位)						

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	40 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

(別紙様式2)

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容科) 令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必 修	選 択	自由 選択						講 義	演 習	実験・ 実習・ 実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	○		ブライダル (ブライダル エステ)	花嫁用デコルテ、フェイシャルマッサージ技 術を修得する	2	9				○	○		○		
	○		ブライダル (ブライダル 研修)	ブライダルサロンでの実習見学により衣装合 わせやヘアメイク技術を修得する	2	9			○			○	○		
	○		ブライダル (ブライダル プランナー 対策)	ブライダルプランナー検定の合格を目指し、 知識を修得する	2	51		○			○		○		
	○		ブライダル (フラワーアレンジ メント)	フラワーアレンジメント技術を修得する	2	21				○	○			○	
	○		ブライダル (テーブルマナー)	ホテルでの演習によりテーブルマナーを修得 する	2	3			○			○	○		
	○		カット (ベーシック) (基礎)	トニー＆ガイ ワンレングス、グラデーション・レイヤー カット技術を修得する	1	75				○	○		○		
	○		カット (アドヴァンス) (応用)	トニー＆ガイ ワンレングス、グラデーション・レイヤー カット技術を修得する	2	87				○	○		○		○
	○		メイク (基礎メイク)	基礎メイクを修得する メイクアップ検定3級の合格を目指し、知識 を修得する	1	30				○	○		○		○
合計				8 科目	285			単位時間(単位)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等
	1 学年の学期区分 2 期
	1 学期の授業期間 40 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

(別紙様式2)

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容科) 令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	○		メイク (特殊メイク)	特殊メイクを修得する	2	21				○	○		○		
	○		メイク (ブライダル メイク)	ブライダルメイクを修得する	2	15				○	○		○		
	○		メイク (ステージ メイク)	ステージメイクを修得する	2	24				○	○		○		
	○		フィニッシュ (ステージヘア& ファッション)	ヘアショー ステージヘア及びメイクを修得 する	2	66			○	○	○	○	○		○
	○		フィニッシュ (プレ・サロン 実習)	模擬サロンでの実習体験を通して実践を学び 修得する	2	21				○	○		○		
	○		国家試験対策	美容師国家試験（実技試験）合格を目指し、 技術を修得する	2	129				○	○		○		
	○		接客マナー	美容師として必要な礼儀・挨拶・動作を修得 する	1 ・ 2	33		○		○	○		○		
	○		エアビクス	体力の増進、柔軟性の強化	1 ・ 2	30				○	○			○	
合計				8 科目		339 単位時間 (単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	4 0 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。